

熊本 S.J.C.D.例会抄録

演題 高齢者に対するインプラント治療および咬合再構成

演者名 町田宗一郎

日付 2011年10月25日

keywords

1. 抜歯即時インプラント
2. 治療期間短縮
3. 咬合再構成

抄録

超高齢化社会を迎えた現在、80歳を超えてのインプラント治療も珍しい事ではない。全身的既往や時間の制約を受けながらの治療になることも多いので、極力侵襲を少なく、短期間で終了する事も重要と思われる。また認知症の予防には、自分の歯でしっかり咀嚼することが大切であると、東北大学の咀嚼機能および残存歯数と認知機能との関連性についての調査により証明されている。

今回の症例は、81歳の女性で、「短期間でよく咬めて、審美的に」という主訴のもと、上顎は義歯、下顎は臼歯部インプラントにより、咬合挙上を含めた咬合再構成を行った症例である。

また、治療期間短縮および外科的侵襲を少なくするために、インプラントは抜歯即時埋入で行った。

治療期間は7カ月で、現在メンテナンス中である。

諸先生方の御意見、御指導よろしく申し上げます。